

2010年(平成22年)12月期 第2四半期 決算説明会

We are leading company with innovation and grow up

日本ライオン株式会社

大阪証券取引所ジャスダック市場

(証券コード:2703)

2010年8月27日



CONTENTS

- ◆ 2010年12月期 第2四半期決算概要
および2010年12月期見通し
- ◆ 中期経営方針
- ◆ 成長市場への事業展開
- ◆ 経営効率化の推進と中国市場へのDrive

2010年12月期
第2四半期決算概要
および通期見通し

Growth with Value

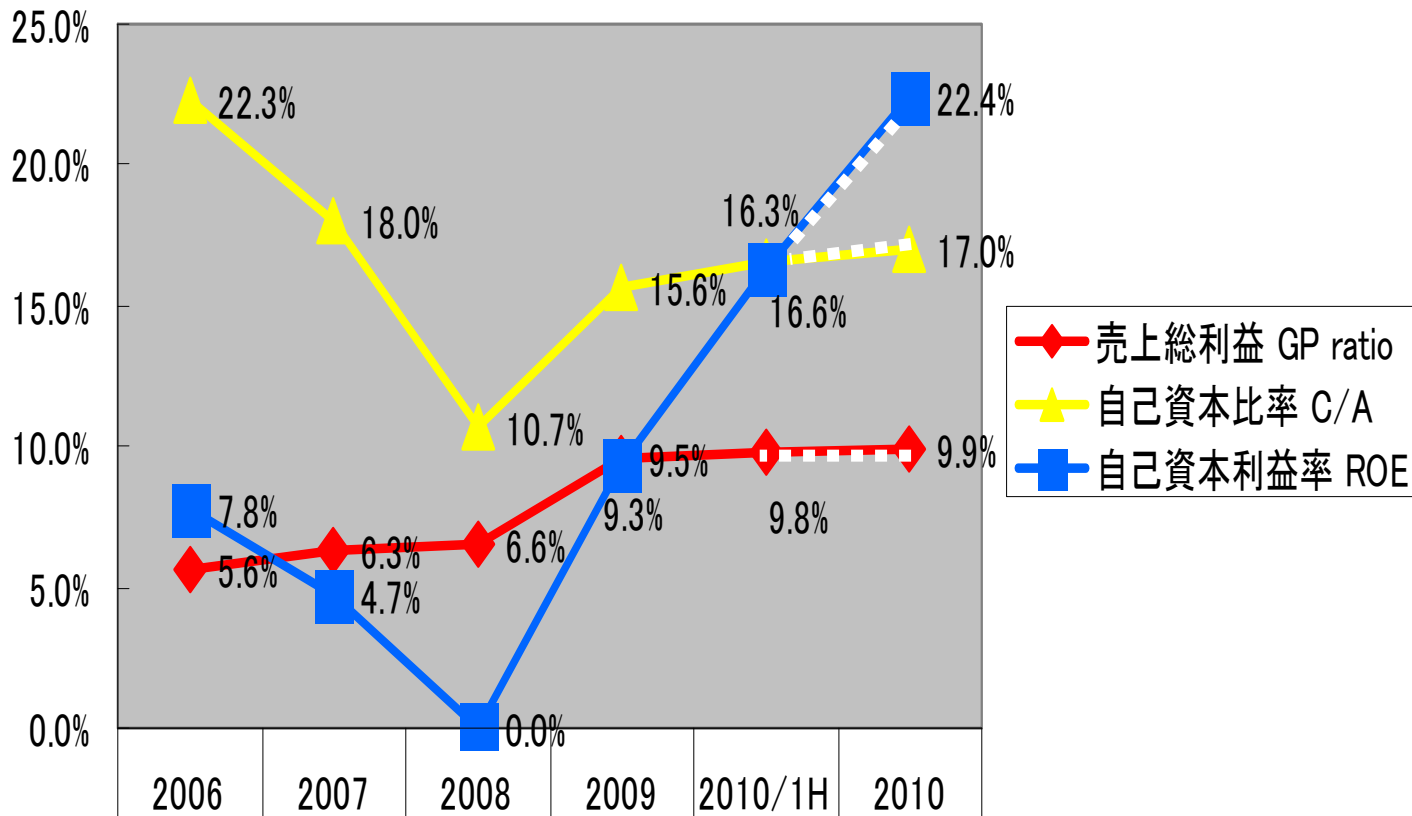
第2四半期連結決算の概要(累計)

(単位:百万円)

	2009年 第2四半期	2010年 第2四半期	増減	前年比(%)
売上高	8,239	11,749	3,510	42.6
売上総利益	875	1,150	275	31.5
売上総利益率(%)	10.6	9.8	△0.8	
販売費及び一般管理費	895	849	△46	△5.1
営業利益	△20	300	320	
経常利益	△12	292	304	
当期純利益	16	263	247	
純利益率(%)	0.2	2.2	2.0	
一株当り 当期純利益(円)	1.32	21.16		

- 売上高は、情報通信関連および一般電子部品を中心に営業体制を見直し、商品ラインナップの拡充に努めた結果、前年同期比42.6%増となりました。
- 売上総利益率は前年同期比0.8ポイント落ち込んだものの、利益額が31.5%増と改善したことと、コスト削減プランが功を奏し、営業利益は、3億2千万円の増、また当期純利益においても2億4千7百万円の増と大幅な改善となりました。

主要経営指標の推移(2006年～2010年予測)

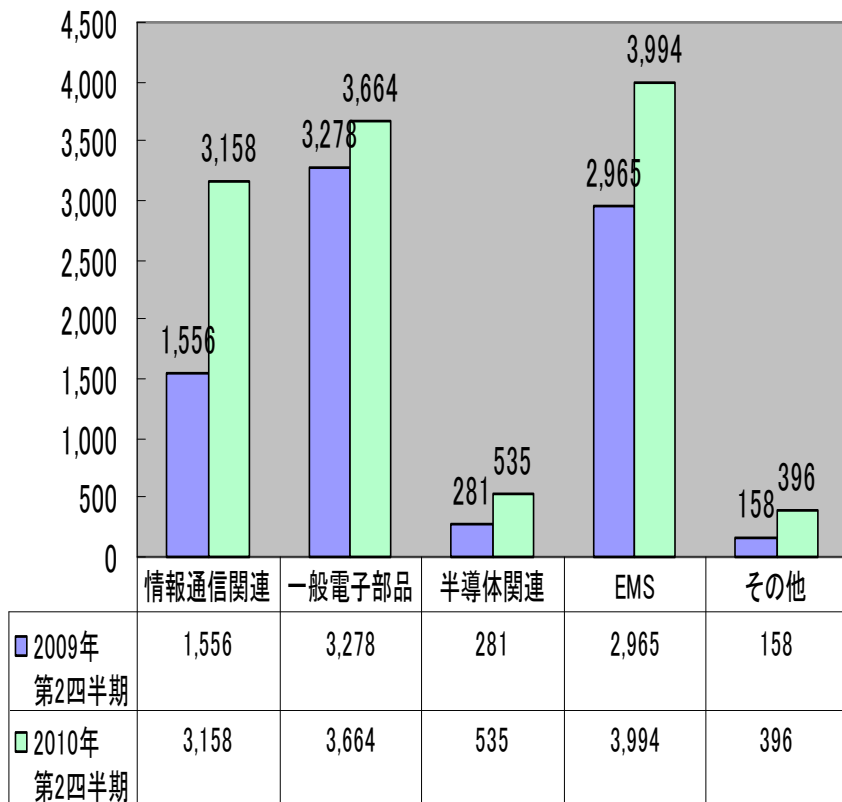


◆ 売上総利益 GP ratio	5.6%	6.3%	6.6%	9.5%	9.8%	9.9%
▲ 自己資本比率 C/A	22.3%	18.0%	10.7%	15.6%	16.6%	17.0%
■ 自己資本利益率 ROE	7.8%	4.7%	0.0%	9.3%	16.3%	22.4%

セグメント別 売上高(累計)

(単位:百万円)

セグメント別売上高



■ 2009年 第2四半期 ■ 2010年 第2四半期

セグメント別 売上高の概況

- ・【情報関連通信事業】
パソコン関連用部品の販売が大きく貢献し、前年同期比 **102.9%の増**。
- ・【一般電子部品事業】
国内・海外ともにLED関連の販売が増加し、前年同期比 **11.8%の増**。
- ・【半導体関連事業】
当社子会社のフィリピン工場における検査受託ビジネスが堅調に推移し、前年同期比 **90.4%の増**。
- ・【EMS関連事業】
香港地域での販売が増加したため、前年同期比 **34.7%の増**。

情報通信: コンタクトラバー、スイッチ電源、マザーボード

一般電子部品: LED、コンタクト・イメージ・センサー、レンズ

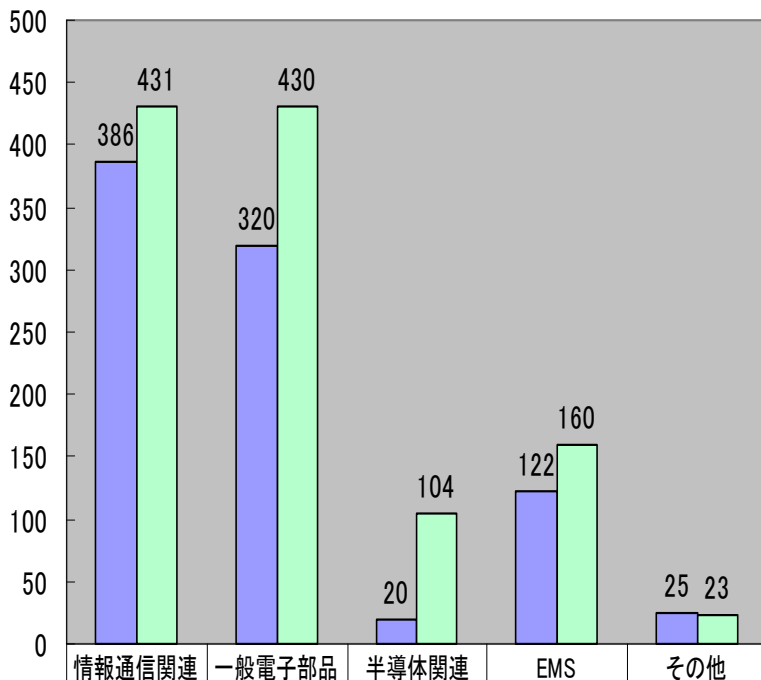
半導体: リードフレーム、半導体パッケージ用基盤の検査及び後工程

EMS: プリンター、MFP

セグメント別 売上総利益(累計)

(単位:百万円)

セグメント別売上総利益



■ 2009年 第2四半期	386	320	20	122	25
■ 2010年 第2四半期	431	430	104	160	23

■ 2009年 第2四半期 ■ 2010年 第2四半期

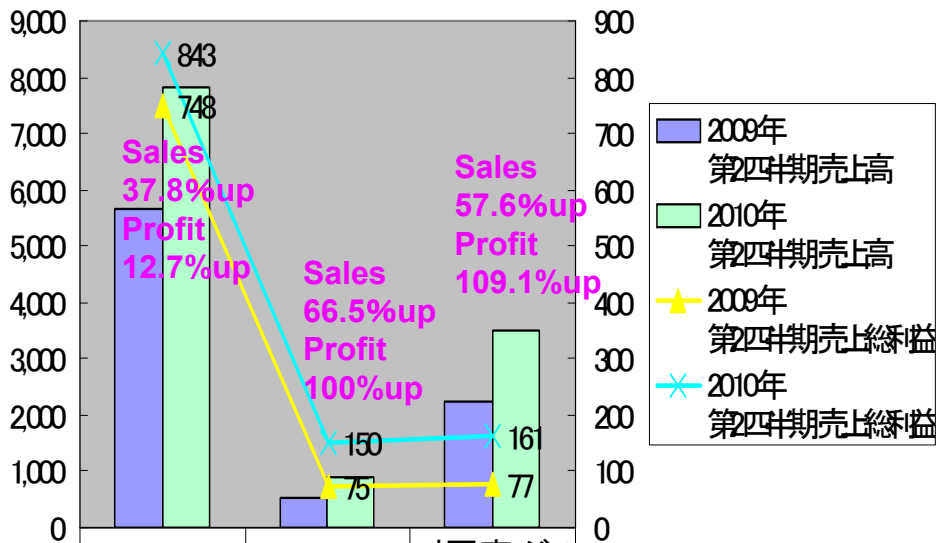
セグメント別 売上総利益の概況

- 【情報関連通信事業】**
 利益面では、携帯電話用ラバキーパッドが堅調に推移し、前年同期比 17.7%の増。
- 【一般電子部品事業】**
 LED関連の利益率が改善し、前年同期比 34.4%の増。
- 【半導体関連事業】**
 当社子会社のフィリピン工場における検査受託ビジネスが堅調に推移し、前年同期比420.0%の増。
- 【EMS関連事業】**
 香港地域での販売が増加したため、前年同期比 31.1%の増。

所在地別 売上高および売上総利益(累計)

(単位: 百万円)

所在地別セグメントの概況



■ 2009年 第4四半期売上高	5,661	543	2,231
■ 2010年 第4四半期売上高	7,799	904	3,515
▲ 2009年 第4四半期売上総利益	748	75	77
✧ 2010年 第4四半期売上総利益	843	150	161

所在地別 売上高&売上総利益

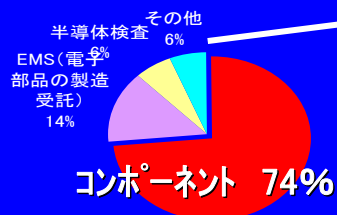
- ・【日本国内向】
情報通信関連の内、特にパソコンメーカーへのマザーボード販売が好調となったことにより増。
- ・【アセアン向】
一般電子部品LED関連および半導体関連の検査業務が好調に推移。
- ・【中国・東アジア向】
一般電子部品LED関連およびEMS関連ビジネスが好調に推移

アセアン地域:
フィリピン、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム
中国・東アジア地域:
中国、香港、韓国

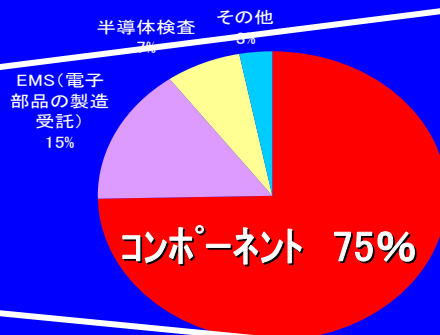
コンポーネント事業の売上総利益構成比推移(累計)

■ 当社の主力事業であるコンポーネント(一般電子部品及び情報通信関連事業)事業の推移と目標値

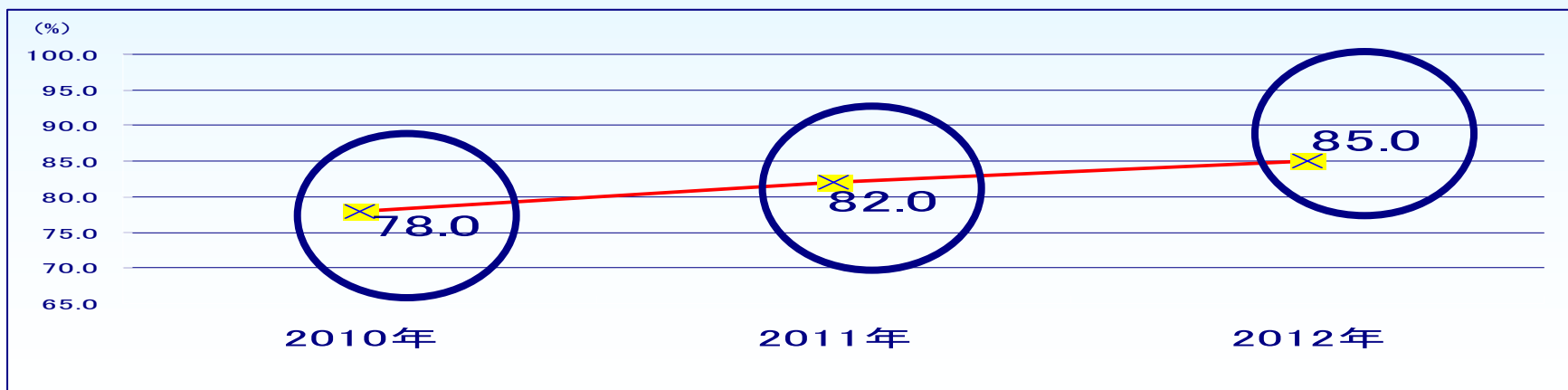
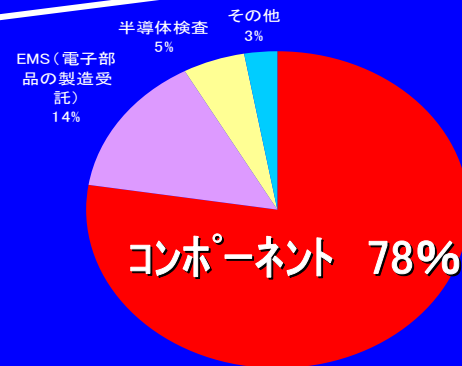
2008年



2009年



2010年



連結貸借対照表

(単位:百万円)

指標	2009年期末	2010年2Q	増減
有利子負債	2,374	2,048	△ 326.0
D/Eレシオ (倍)	1.71	1.27	△ 0.4
有利子負債依存比率 (%)	26.7	21.04	△ 5.7

流動資産	7,719	8,557	838.0
固定資産・投資等	1,157	1,175	18.0
資産合計	8,877	9,732	855.0
流動負債	6,247	7,369	1122.0
固定負債	1,241	750	△ 491.0
負債合計	7,488	8,119	631.0
純資産合計	1,387	1,613	226.0
負債純資産合計	8,877	9,732	855.0

【増減要因】

有利子負債 : 長期借入金6億96百万円の減少および短期借入金3億70百万円の増加
有利子負債が3億26百万円減少したことにより、D/Eレシオは0.4ポイント改善し
有利子負債も5.7%の改善をしております。

流動資産 : 現預金8億16百万円および棚卸資産2億9百万円のそれぞれの増加がありました。

固定負債 : 長期借入金が減少したことによる影響です。

総資産 : 流動資産の増加にともなう影響です。

連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2009年2Q	2010年2Q	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,412	1,286	△ 126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 74	△ 12	62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1354	△ 315	1,039
キャッシュフロー合計(増減額)	29	896	867
現金および現金同等物の期首残	2,276	1,687	△ 589
現金および現金同等物の期末残	2,306	2,584	278

【2Q実績】

- 営業活動によるキャッシュフロー : 税金等調整前四半期純利益が+2億93百万円となり、その他資産の減少および仕入債務、売上債権の増加並びにたな卸し資産の増加により、12億86百万円のプラスとなりました。
- 投資活動によるキャッシュフロー : 有形固定資産(日本:3.5百万円、フィリピン:5百万円等)の取得により、12百万円のマイナスとなりました。
- 財務活動によるキャッシュフロー : 短期借入金+3億70百万円の純増減額額および長期借入金の返済△6億85百万円の支出となり、3億15百万円となりました。

経営指標 (BS, IS, Share Price Index)

BS Index

	2007	2008	2009	2010/1H	2010/FCST
C/A	18.0%	10.7%	15.6%	16.6%	17.0%
D/E	1.7	3.9	1.7	1.3	1.0
BPS(円)	449.06	100.14	111.46	129.56	143.52

IS Index

	2007	2008	2009	2010/1H	2010/FCST
純利益(百万円)	140	-2,955	129	263	400
ROE	4.7%	-231%	9%	16%	22%
EPS(円)	21.4	-340.13	10.39	21.16	32.13

Share Price Index

	2007	2008	2009	2010/1H	2010/FCST
PER	20.2	N/A	17.4	8.7	5.71
PBR	1.0	1.3	1.6	1.4	1.3

6月末日
株価184円の設定

2010年12月期 年度計画(業績見通し)

(単位:百万円)

	2010予想	2009年実績	前期比
売上高	22,300	18,710	19.2%
売上総利益	2,217	1,782	24.4%
営業利益	500	81	517.3%
税引き前当期純利益	460	109	322.0%
当期純利益	400	129	210.1%

1. 利益重視のビジネス拡大

- ・Component分野の拡充: LED分野=>アミューズメント分野への拡販
一般家電分野への拡販
- ・情報通信分野の拡充 : マザーボード関連が今年度再スタートで売上 & 利益へ寄与
- ・新規商材の確保 : Diode Inc製品の“アナログIC”の取扱開始

2. コスト削減プラン継続推進

- ・国内拠点の一部再編 / 海外拠点網の再編 / 物流コストの削減 / その他経費の削減

中期経営方針

Growth with Quality

日本ライオン事業戦略

Mission

アジア市場におけるトップ3商社を目指す！

Top 3 in Asian Market for component market

主たる分野

IT コンポーネント、部材等の取扱分野

Strategy

選択 と 集中

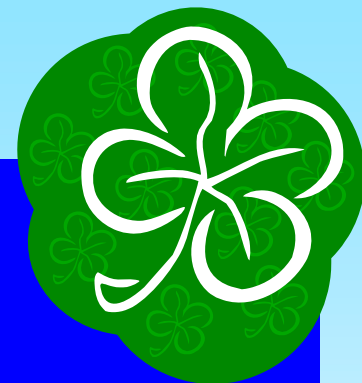
(Selection & Focusing)

日本ライオン事業戦略

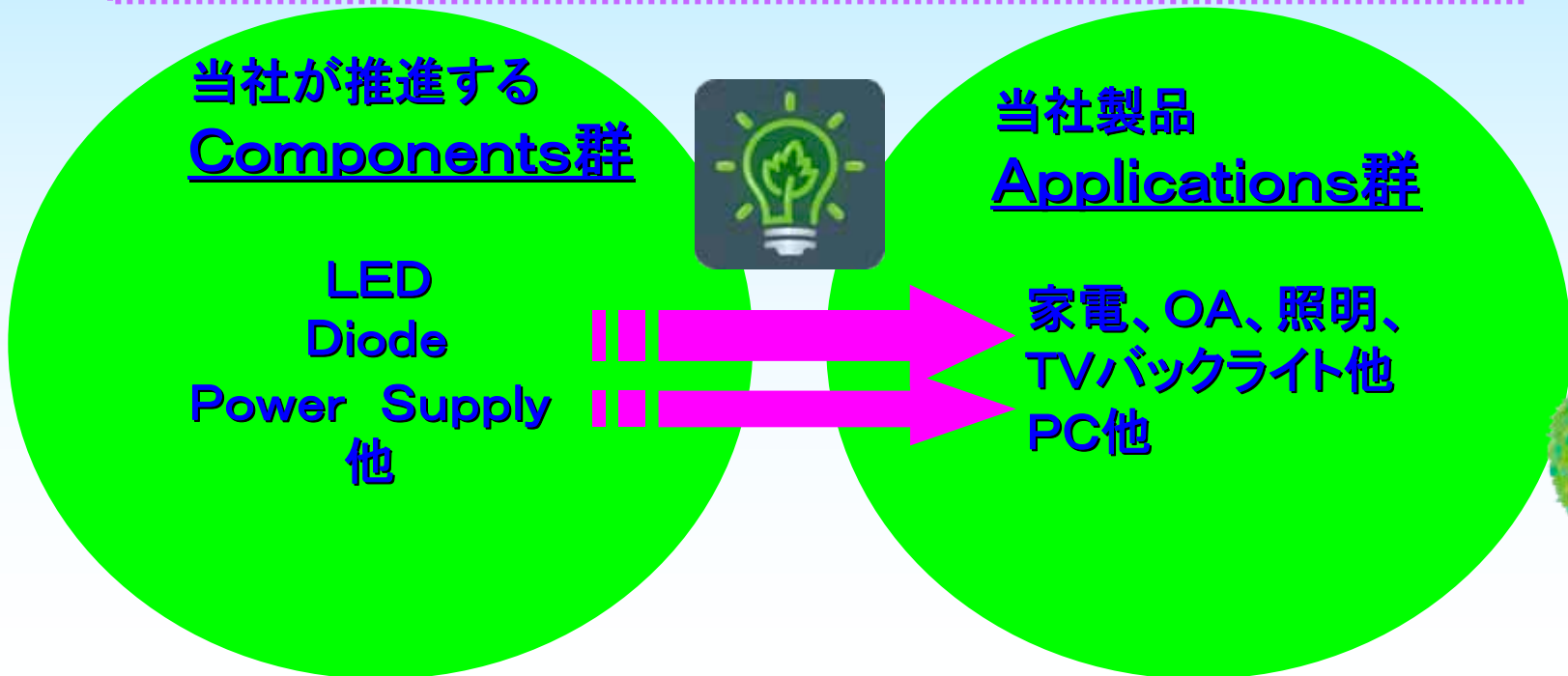
Field

ECO

環境への社会貢献とともに！



We are a pioneer for LED specialized trading company in Japan.
We are always close to the environment with LED for 25years and, in the future.



3カ年事業戦略（2010年 - 2012年）

4つの事業の柱

コンポーネント事業

LED開発製造事業

IC検査・サービス事業

中国国内拡販事業

成長分野への果敢なる取り組み

経営数値目標

ROE

今期上期 : 16%

今期通期予想: 22%

ROE > 20%

販管費/売上高 < 5%

=Basement=

業界トップ顧客への集中展開 / 顧客内納入シェア比率の拡大 / 商品ラインナップの充実
グローバルロジスティック窓口設置 / 中国マーケットにおけるロジスティックサービス提供
LED照明ビジネスの拡大 / 国内マーケットの開発 等々

2010年

2011年

2012年

- 主要顧客にフォーカス。
- 中国市場における部材販売代理の開始。
- TV用バックライト商材への参入

- 主要顧客にフォーカス。
- 他大口顧客への横展開。
- 販売代理店業務の拡大。

- サプライヤー増による、取扱商品の拡充。

成長市場への事業展開

Future Development

- ・LED市場（自社開発LED）
- ・中国市場（海外拠点再編）

Growth with Ambition



LED主力市場へのDrive

LED照明市場

自社開発LED製品
LITE-ONグループLED製品
その他国内外製LED製品

液晶TV用

LEDバックライト市場
LITE-ONグループLED製品

Amusement

アミューズメント

(パチンコ、パチスロ市場)

機器用LED市場

自社開発LED製品
LITE-ONグループLED製品

LED主力市場へのDrive

LED照明製品のご紹介

自社開発LED製品

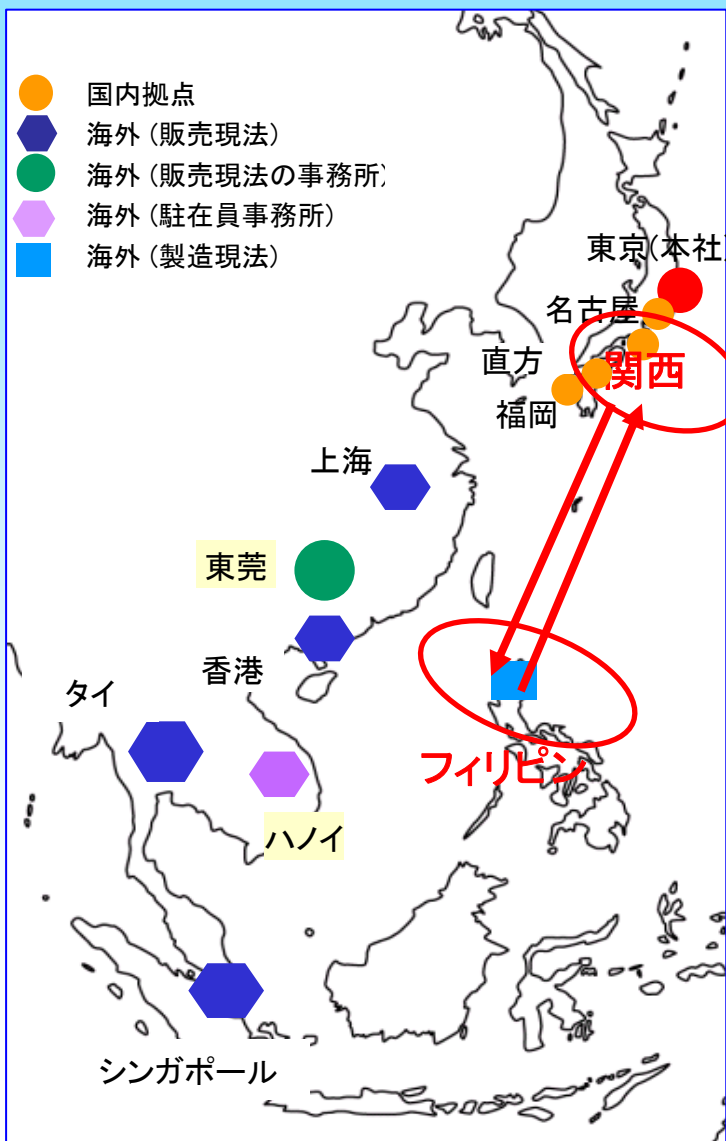
【自社開発の特徴】

LITE-ONグループLED製品

その他国内外製LED製品

OEM/ODM案件への取組みをスタート
LITE-ONグループの開発力で市場ニーズを満たす製品開発を展開中

自社開発の特徴



☆ 自社研究開発(R&D)センターを擁しています。

・ 関西 : 大阪市

☆ 自社工場を擁しています。

・ フィリピン クラーク
 L&K Industries Philippines, Inc.

【自社の特徴】

- ・ 日系企業の製造ライン管理を徹底
- ・ コスト競争力の追求
- ・ 高品質を維持
- ・ 生産能力の拡充
 月250万個から月400万個へ。

自社開発の特徴 (L&K Industries Philippines, Inc.)



L&K Industries Philippines, INC.

日本ライトンのフィリピン現地法人
(フィリピン クラーク地区)

【日本ライトンブランド】
当社開発LED (NLシリーズ)

SMD (PLCC) タイプのLED

ハイエンドLEDの生産



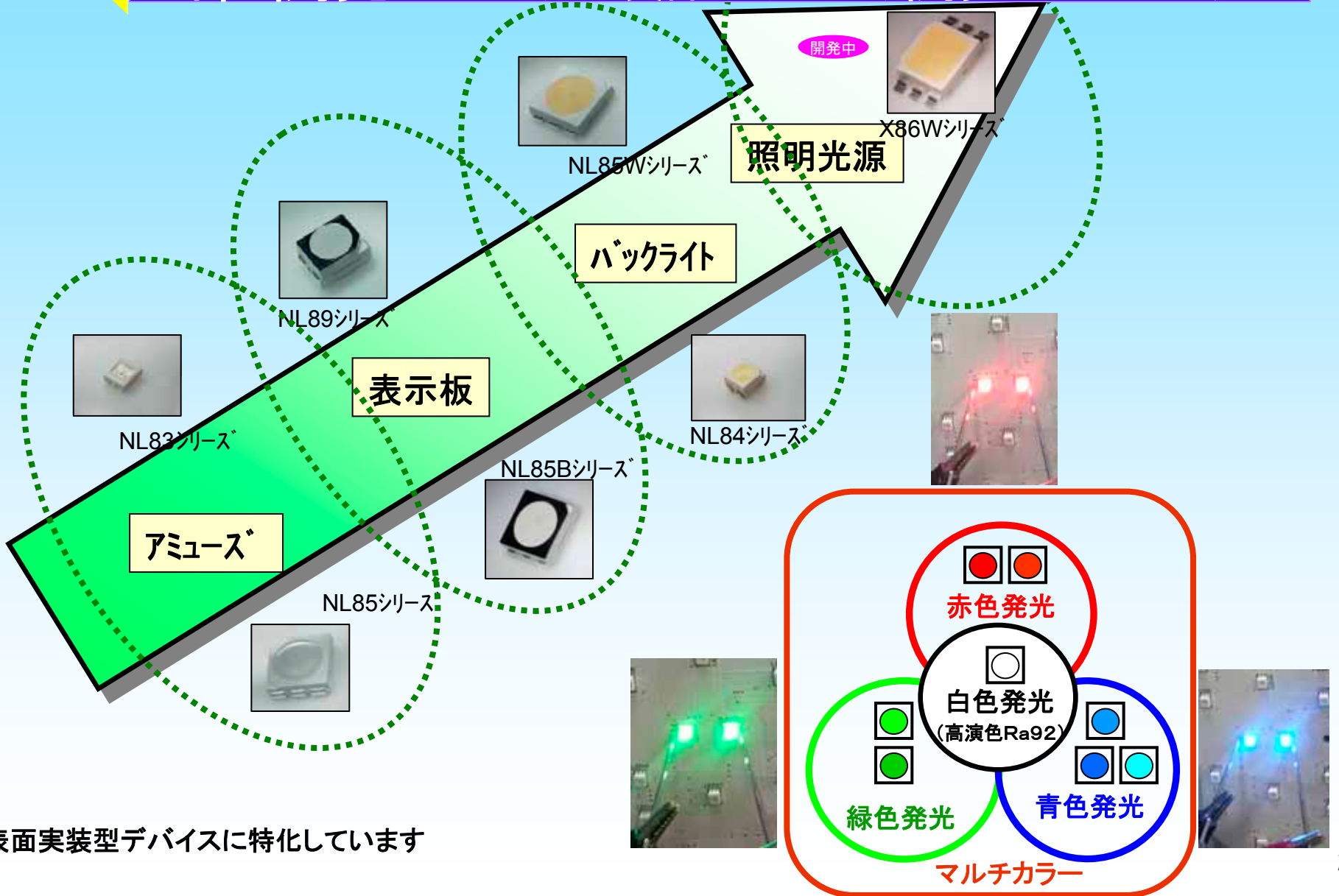
品質リーダーシップと
継続的成長を高い
モチベーションを
持って取り組んでい
ます。

・半導体部品の加工・検査
・テープ & Substrateの検査



Total Property	15,768.49 m ²
Building Area	10,012 m ²
Clean room Area	4,172 m ²
Clean room Class	<10K@0.5 μm
Clean room Temp.	21+/-3 °C
Clean room Humidity	50+/-10%

当社開発LED (NL製品シリーズ) 開発ロードマップ



表面実装型デバイスに特化しています

自社開発LED照明向け高演色白色LED

NL85xxWシリーズ

品番	光度	全光束	発光効率	平均演色性指数	内部結線	外観
NL8537W03	4cd	11.5 lm	60 lm/W	92		 5.0×5.4×1.6t
NEW NL8557W33	5.5cd	14.5 lm	78 lm/W	92		

IF=20mA/chip

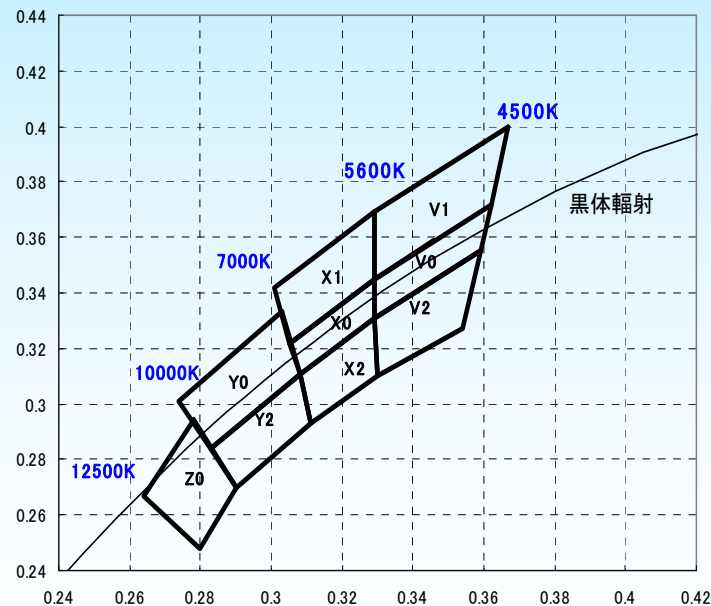
採用例:LED蛍光管



納入実績

- ・国土交通省
- ・関西電力
- ・名鉄交通
- ・自衛隊 等

色温度によるランク分類



自社開発LED (NL製品シリーズ) アプリケーション

アミューズメント
(パチンコ、パチスロ) 関連



NL84シリーズ*



注) 写真はイメージです

NL85シリーズ*



植物育成用光源

ピーク波長440nm、660nm



単色発光型

演出照明



サインボード



NL83シリーズ*



NL82シリーズ*



NL85シリーズ*



NL89シリーズ*



マルチ発光型

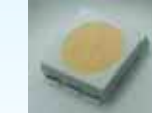
屋内表示機



NL82Wシリーズ*



NL85Wシリーズ*



NL84Wシリーズ*

蛍光体励起発光型

食肉ショーケース



LED蛍光管



照明関連

表示機関連

LED主力市場へのDrive

**LED照明設置事例
一部ご紹介
Introduce LED lighting**

LED照明市場

・ LEDキャンピー灯の設置事例



設置場所： 飲食資材商社様の物流倉庫
商品名： LEDキャンピー灯 (160W)
設置台数： 27台
既存照明： ナトリウム(400W)
電力削減効果： 6,000W/h
メモ： 暖色系のナトリウム灯よりも白色系のLED照明のほうが明るく感じられ、作業効率Upに貢献。



設置前 (既存のナトリウム灯)



作業中(高所作業車使用)



設置後 (LED照明)

LED照明市場

・ LED道路灯の設置事例



設置場所： 道路メンテ大手企業様の車輛基地

商品名： LED道路灯 (160W)

設置台数： 7台

既存照明： 水銀灯(400W)

電力削減効果： 1,680W/h

メモ： 白色LEDの特性である暗所視に近い波長により夜間の視認性が向上。ポールとのマッチングも良好でご満足頂いている。



LED照明市場

・ LEDライトバーの設置事例(トンネル内環境試験中)



設置場所: 鉄道トンネル
商品名: LEDライトバー
設置台数: 1台
既存照明: 直管蛍光灯(40W)
電力削減効果: **試験中**

メモ: 昼夜の温度変化や、高湿度環境での使用に耐えるため、防水型のLEDライトバーを選定して試験中。



LED主力市場へのDrive

Amusement アミューズメント向け LED製品のご紹介

自社開発LED製品
【自社開発の特徴】
LITE-ONグループLED製品

自社開発フルカラーLEDおよびLED表示モジュールの量産が本格化

アミューズメント(パチンコ・パチスロ)市場

自社開発フルカラーLED(NLシリーズ)およびLED表示モジュールの量産が本格化。

イメージ図

【戦略】

- ・パチンコ機器向けLEDの市場規模は約300億円 (当社推定値)



当社シェア(見込み)は約1.5%

- ・納入先の多様化

→ 需要変動に対処

- ・1社あたりの浸透率を高める

→ 限界利益の向上

- ・フィリピン自社工場

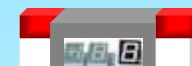
→ 供給安定化

- ・大手LEDメーカー並みの歩留まりを維持

→ 顧客信頼度の向上



LED表示モジュール



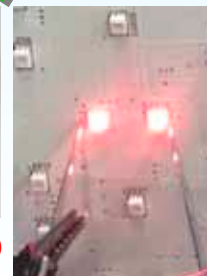
呼び出しランプ



本体



フルカラーLED (NLシリーズ)



Red発光



Green発光



Blue発光

LED主力市場へのDrive

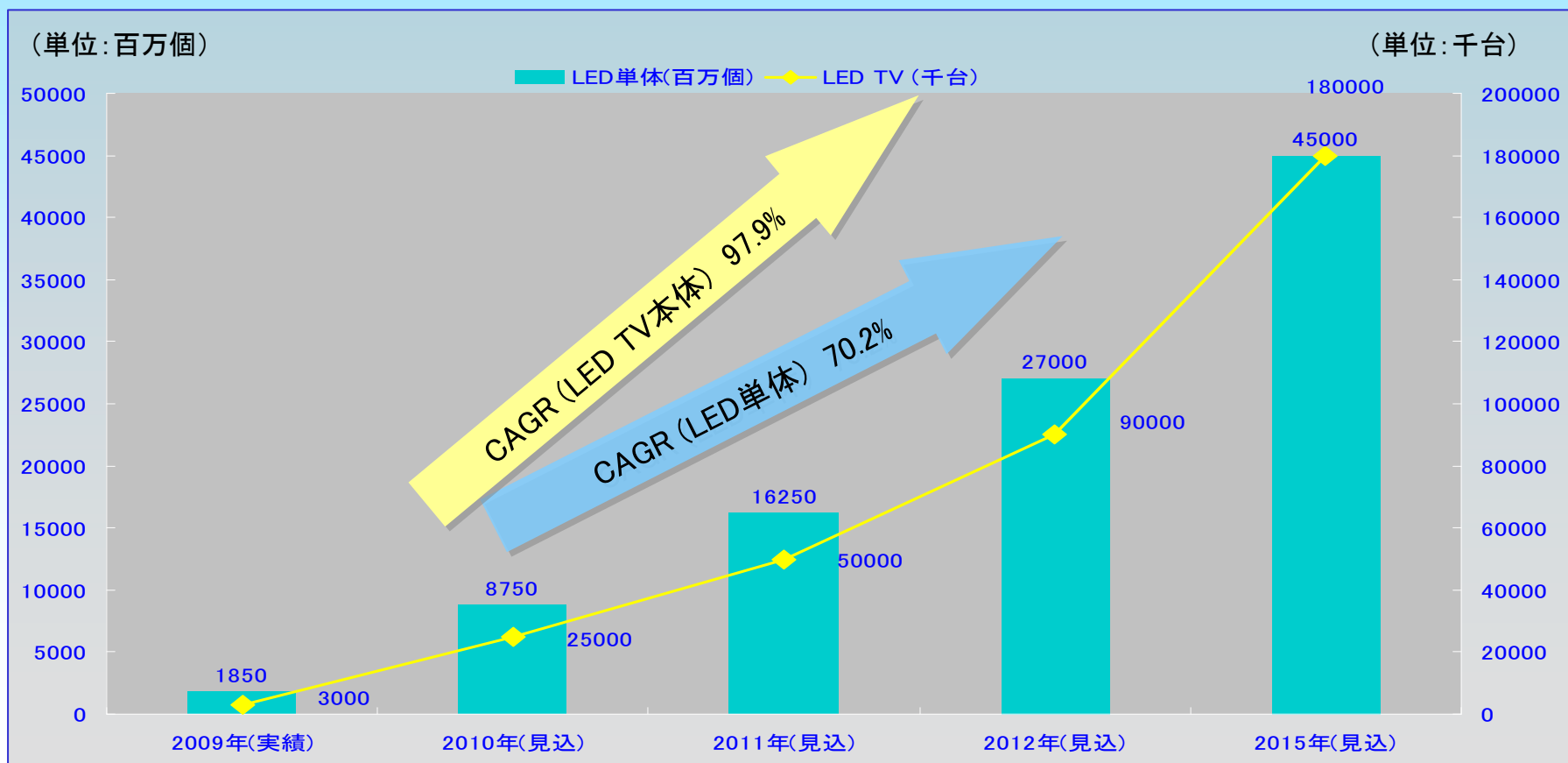
液晶TVバックライト 市場への参入

自社開発LED製品
【自社開発の特徴】
LITE-ONグループLED製品

Lite-on Technology社によるLEDバックライト事業へ大型投資が本格化

液晶TV用バックライト市場への展開

親会社であるLite-on Technology社が液晶TV用LEDバックライトモジュール向けの大規模投資を決定したことにより、当社も、国内大手液晶TVメーカーへのアプローチを本格展開します。



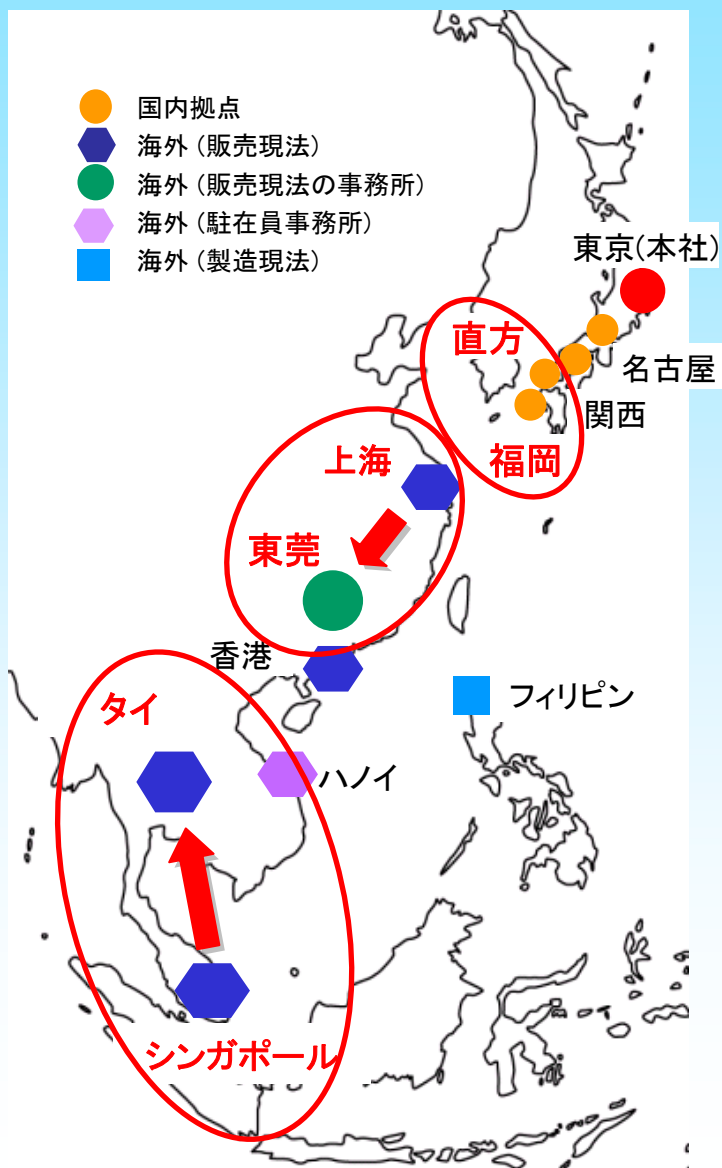
データ出所 : 株式会社富士経済

経営効率化の推進 と 中国市場へのDrive

Growth with Ambition



経営効率化の推進と中国市場へのDrive



(1)国内拠点の再編

- ・九州営業所の直方事務所への移転 (国内)

(2)海外拠点網の再編

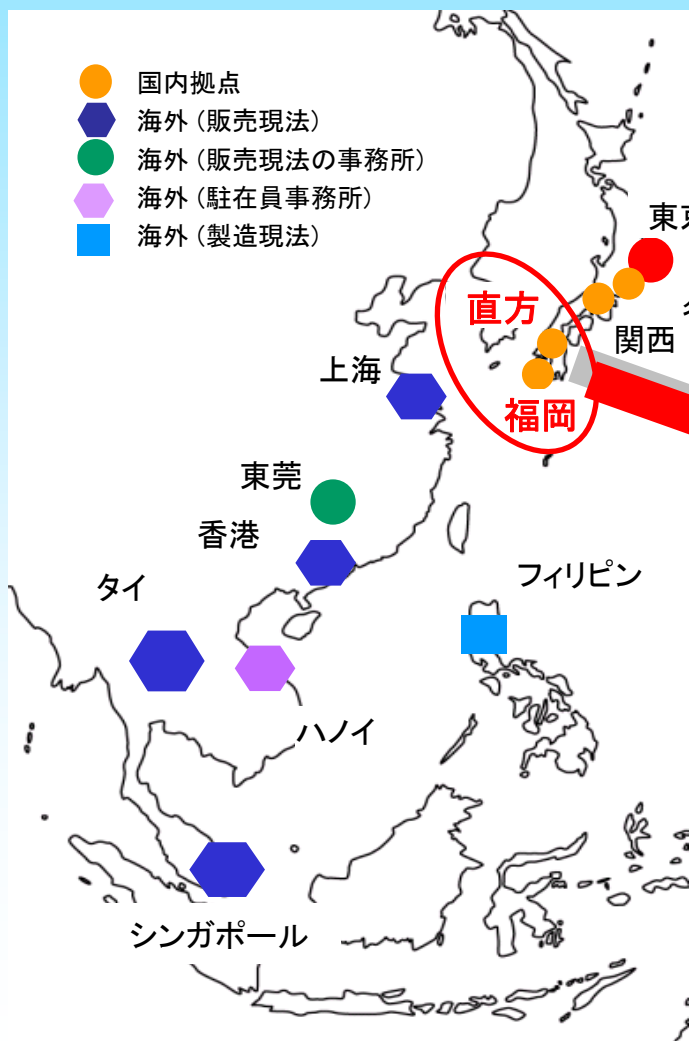
- ・シンガポール現法業務をタイ現法へ集約
- ・ロジスティックの再編(東南アジア)

(3)東莞事務所の設置(中国)

- ・上海現法より東莞地区に事務所設置

経営効率化：国内外拠点網の再編

(1)国内拠点再編：九州営業所の直方事務所への移転(国内)



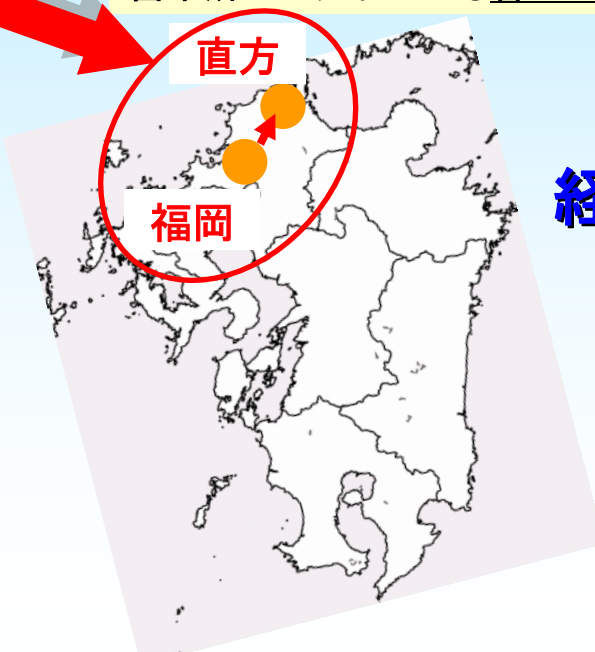
(概要)

九州営業所(福岡県福岡市)を、直方事務所(福岡県直方市)へ移転し、従来の直方事務所を九州営業所と改める。

直方事務所は、当社所有物件。

(メリット)

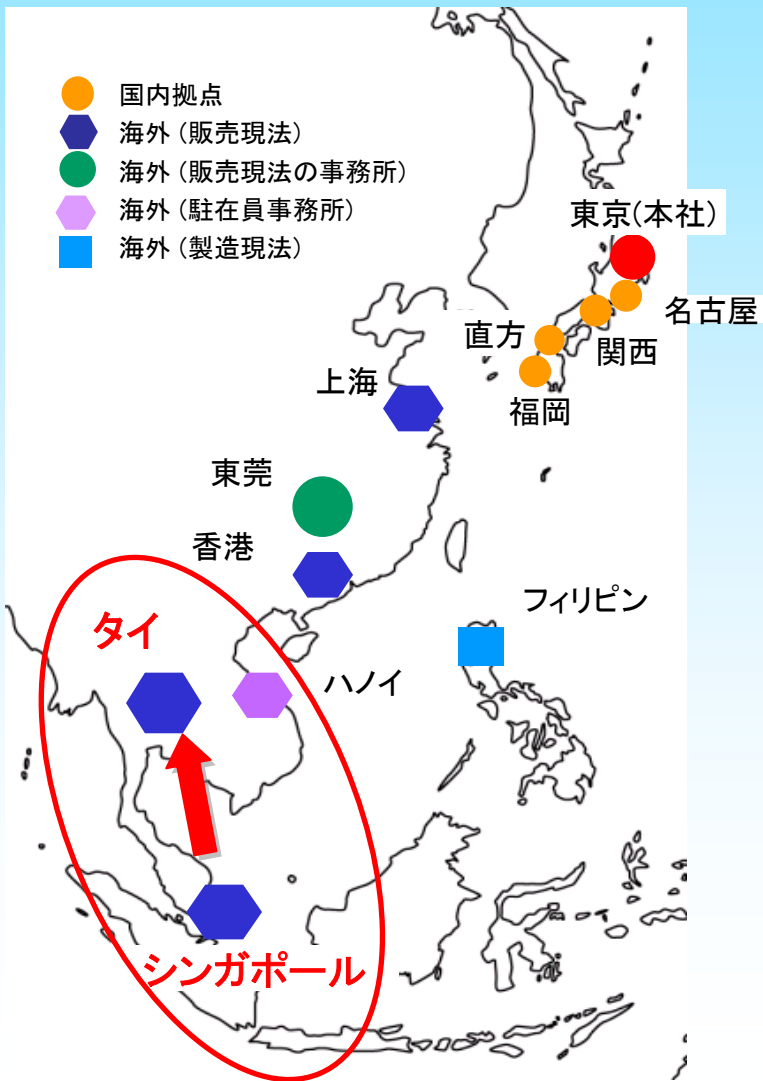
営業所の一元化による管理の効率化と、運営コストの削減。



**経営効率化
と運営コスト削減**

経営の効率化：ロジスティックの再編

(2)海外拠点網再編：シンガポール現法業務をタイ現法へ集約



(概要)

シンガポール現法のオペレーション業務をタイ現法(バンコク市)へ移管、集約し、シンガポール現法にはセールスマーケティング機能のみを残し、新規顧客開拓及び既存顧客のメンテナンス、情報収集に特化。

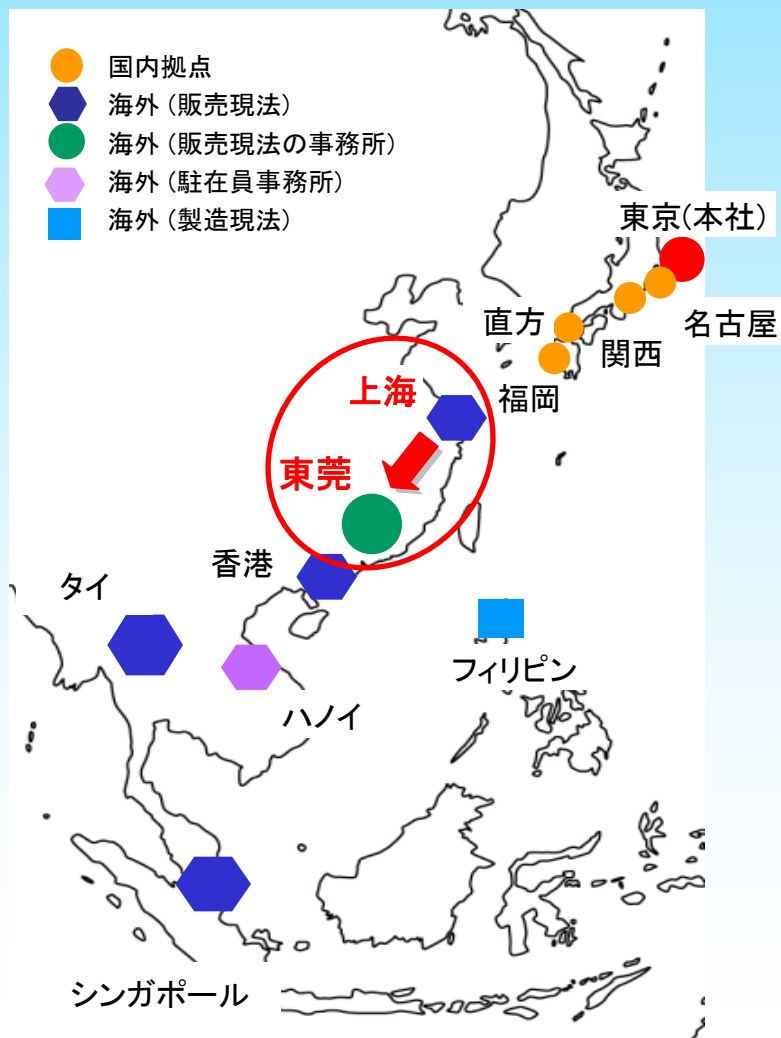
(メリット)

東南アジアにおける拠点運営コストの削減、LITE-ON Technology タイ工場への発注窓口の一本化による仕入コストの削減、および同国におけるロジスティックセンター設立による当社グループ全拠点向け物流の一元管理の実現とオペレーションコストの削減。

**物流一元管理による
オペレーションコストの削減**

経営効率化： 中国市場へのDrive

(3) 東莞事務所の設置 (中国)



(概要)

上海販売現法の中国華南地区における拠点として東莞事務所を、広東省東莞市に設立する。

(メリット)

華南地区の新規サプライヤー開拓、既存サプライヤー管理および顧客サポート業務をメインに行い、全社的な事業運営の効率化とコスト削減。

中国市場との 円滑なコミュニケーション

Q & A
(質疑応答)

ご清聴ありがとうございました。
Thank you for your attendance.

LITEON

日本ライオン株式会社

URL: <http://www.lite-on.co.jp/>

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル

問合せ先: 社長室

TEL: 03-3258-6501 FAX: 03-3258-6515

〔免責事項〕

本資料は、決算の業績及び事業に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容における将来の業績予想に関する情報は、本資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されており、その予想の達成や計画の実現を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。